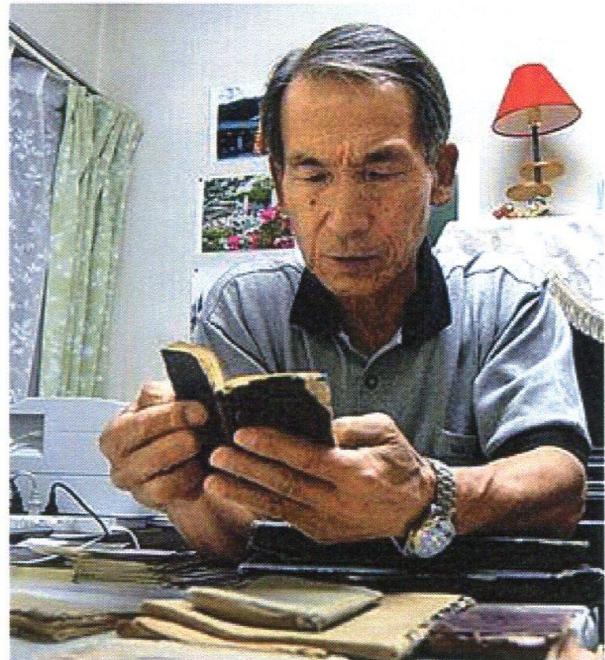


＜神戸・南京をむすぶ会 講演会＞

「父の証した記憶をたどって」



父が戦場から持ち帰った日記を読む
山本敏雄さん=福井県鯖江市

講師 鯖江市市会議員 **山本敏雄さん**

山本敏雄さんの父・武さんは1937年9月から39年6月まで日本軍兵士として中国に派遣された。戦後、当時の日記をもとに回顧録を書き、1984年に70歳で亡くなられた。回顧録は翌1985年『一兵士の従軍記録』として自費出版された。戦争は「畑の力エルさえ殺せなかった」という父が、「人殺しをした後は、却って飯がうまい」と一変させた。敏雄さんはこの回顧録を公表し、「人を憎悪の連鎖に突き落とすのが戦争。子どもたちに経験させたくないと言っていた父の体験をこれからも語っていく」と話されている。（裏面、2017年6月15日朝日新聞参照）

南京大虐殺から80年になる今年12月、山本敏雄さんを神戸にお招きし、講演していただきます。同時に、敏雄さんの活動を記録したドキュメンタリーを上映します。ぜひご参加ください。

日 時：2017年12月7日（木）午後6時30分～8時30分

会 場：神戸学生青年センター

参加費：1000円

主 催：神戸・南京をむすぶ会（代表：宮内陽子）

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1

神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

ホームページ <http://ksyc.jp/nankin/>

e-mail hida@ksyc.jp